



ALL IN ONE TOEIC® テスト 音速チャージ!

書名の「ALL IN ONE」は「**全て**の学習分野を**1冊**だけで学ぶ」という意味。
「**音速チャージ**」は「**音声**」を中心にした学習で、不足する知識と技能を「**急速**」に「**チャージ**(補填)する」という意味。

本書は、次のような方のための TOEIC 総合学習書です。

**TOEIC730 点～860 点を取るのに必要な
「単語力」「文法力」「リスニング力」を
1冊でまとめて身につけたい**

本書が他の TOEIC 教材と大きく異なる点は次の 3 つです。

- 1** わずか **30 分**の例文 **音声**に TOEIC の **頻出・重要単語・熟語**が **1876 語**も含まれている
- 2** 例文には**頻出の文法・語法**が網羅されている
- 3** 前から細かく訳した「**読み下し式の音声**」で **リスニングが楽に学べる**

本書は、まず、『TOEIC 公式問題集』の **1 1 冊**を元に TOEIC で頻出の「単語」「熟語」「文法」「語法」をリストアップし*、次に、最小数の例文で最大数の単語・熟語が覚えられるよう、同一定義の単語・熟語を繰り返し使わないように注意して「**凝縮度の高い例文**」を作成。最後に、頻出の文法・語法を例文に盛り込む、という大変骨の折れる作業を何年もかけて行い完成させた学習書です。その結果、他のいかなる TOEIC 教材にもない上記 **1** (圧倒的な単語・熟語習得効率の良さ) と **2** (文法・語法学習を別に行う必要がない) の利点を備えています。

また、他の教材は全て、例文の意味が「意訳」で示されるため、「なぜこんな意味になるの??」という疑問がたくさん生じますが、本書は、前から細かく訳した「**読み下し訳**」があるので、文中の単語と和訳の関係が容易に理解でき、疑問が生じません。そして、「読み下し訳」と英語がセットで「音声」にしてあるので、(英語の語順で前から理解していかなければならない) **リスニングの学習もストレスなく行うことができます (3 の利点)**。

これら **1～3** を 1 冊で効率良く行う「**オールインワン英語教材**」は、1999 年出版の『ALL IN ONE (Part1, Part2)』以来、私がライフワークとして取り組んできた教材コンセプトであり、本書はそれを最もうまく体现できた自信作です。

もし、あなたが次のどれかに当てはまったら、

- ☐ 単語、文法、リスニング ... といくつもの教材をやりたくない
- ☐ TOEIC の勉強を何から始めたらよいのかわからない
- ☐ 隙間時間に「耳」から単語やリスニングを身につけたい
- ☐ 試験前に 30 分(の音声)で TOEIC のポイントを確認したい
- ☐ たいした効果もない「試験テクニック」ではなく、「本物の英語力」を身につけて TOEIC の点数を大幅に上げたい

本書は、あなたにとって、最高のパートナーになるでしょう。そして、「この本で TOEIC の準備勉強をしよう!」と決めたら、**これだけに集中して最後までやり抜いてください**。そうすれば、**TOEIC730 点～860 点に、回り道をすることなく、最短距離で到達できます**。

* P383「単語・熟語・文法・語法の選定方法について」を参照

本書の構成

本書は、Key Sentences (例文) に Words & Usage (語い・語法) と Grammar (文法) が紐付けされた三部構成になっています。ここでは、核となる **Key Sentences** の構成を説明します。

① ② ③

070 EPISODE 20 リーディング制限時間 6 秒

Ted

"So, shall we get started? At the top of the agenda is finalizing the outstanding merger issue."

「それでは、しましょうか? 私達は、始めることを。一番上に、議題の、ある、終わらせることが、未解決の、合併の件を」

「それでは、始めましょうか? 最初の議題は、未解決のままである合併の件を片付けることです」

④ 意識

⑤ 音声の国語

* P8③を参照

- so [səʊ]
【副】ところで、では、さて、とにかく(※相手の注意を喚起するのに用いる)
- Shall we Vb?
【慣】「一緒に」Vしませんか? (※かなり改まった表現)
- get started (on ...)
【動】(…を)始める[スタートする]
- at the top of ...
【副】…の一番上[最上部、頂上、トップ]に
□ on top of ... (【副】…の上に、…に加えて)
- agenda [ədʒəndə]
【名】(会議の)議題、協議事項
- finalize | finalise [faɪnəlaɪz]
【動】…を終わらせる[仕上げる、まとめる]、…に決着をつける
□ finalization (【名】最終決着) □ final (【形】最後の、最終の)
□ finally (【副】最後に、最終的に)
- outstanding [aʊtstændɪŋ]
【形】未完の、未解決の、懸案の、未払いの、未決済の
□ hanging, pending (【同】未解決の: leave ... hanging (…を未解決のままに放置する)) □ outstanding balance (【名】未払い残高)
- merger [mɜːrdʒər]
【名】合併(=2つ会社や組織が合体すること)
□ merge (with ...) (【動】(…と)合併する)
□ M&A (=Mergers & Acquisitions) (【名】合併と買収、合併吸収)
- issue [ɪʃuː]
【名】…の件、問題、問題点
□ point out a few issues with ... (【動】…に関していくつか問題点を指摘する)

この例文に含まれる文法の出題ポイントは
倒置文(前置詞句+be動詞+主語) ⇒ G29 ②

81

27%

⑥ ⑦ ⑧ ⑨

⑩

ページ(P)番号

進捗度

① Key Sentence (例文) の番号

Key Sentence (例文) は全部で **251** あります。巻末の **Index** 等は、「ページ番号」ではなく、「例文番号」で示しています。

② EPISODE の番号

251 の例文は 3 ~ 5 つで 1 つの EPISODE (= 話のまとまり) になっています。EPISODE は **69** あります(要約は P384 ~)。

③ Key Sentence (例文)

TOEIC で頻出の単語・熟語・文法・語法を盛り込んだ例文です。会話、チャット、メールなどの文は引用符(" ") で示しています。

④ 読み下し訳

例文の「英語的な和訳」です。例文の理解・読解はこの和訳を見て行い、全体の意味を確認する時だけ、下の「意識」を見ます。中点(・)は小さな意味の区切りを表し、斜線(/)は節(=文)の切れ目などの大きな意味の区切りを表します。

⑤ 見出し語と発音記号

例文に含まれる TOEIC 頻出単語・熟語です。全部で **1876** 語あります(* figure (「人物」「数字」) のように 2 つの意味で使われる多義語は 2 語にカウント)。finalize | finalise や [faɪləʊ] | [faɪl] のように | があるものは、**米語 | 英語** の綴り・発音記号を表します(米語、英語の区別は絶対的ではありません)。

⑥ 定義と補足

見出し語の和訳と補足事項(*印で表示)です。【動】【副】【慣】などの記号については P8 をご覧ください。

⑦ 関連語句と表現

見出し語に関連する TOEIC の重要表現です。巻末の **Index** に掲載している主要なものだけで **1194** 語あります。

⑧ 語い・語法のまとめ

見出し語に関連する TOEIC の頻出語い・語法が、(W...) で示された **Words & Usage** (P263 ~) にまとめられています。

⑨ 補足説明

✎ 印には見出し語と例文に関する補足説明が書かれています。

⑩ 文法・語法のポイント

例文に含まれている TOEIC の頻出文法事項で、例文の青色の下線(点線)部分に当たります。詳しい文法説明が、⇒ **G...** で示された **Grammar** (P303 ~) に書かれています。

① Key Sentences (例文) を「音」で身につける

TOEICはリスニングが配点の5割を占めるテストです。ですから、常にリスニングを意識しながら単語・熟語を覚えたり、リーディングをすることが大切です。

本書の「読み下し音声」は、単語の意味を「音」で覚えながら、同時に文法(=英文の構造や語と語の修飾関係)が身につくようにしてあります。まずは、例文の英語を見ながら「読み下し音声」を何度も聞いて、単語を「耳」と「目」の両方で覚えてください。そして、「読み下し音声」の日本語が要らなくなってきたら、「英語例文音声」に切り替えます。(音声の利用方法はP10)。**聞き取れなかった部分は必ず文字を確認して音と単語が結びつくようにしてください。**

リーディングを行う時も、リスニングと同じように、英語の語順で前から順番に理解し、決して後ろから訳し上げないでください。各ページの右肩には🕒で「リーディングの制限時間」が示してあります。この時間(5秒~7秒)で読解するには、リスニングをするようにリーディングができる必要があります、それができないと、Part 5~7の設問を制限時間内に終えることができません。

② 単語・熟語を「日→英」で言うテストをする

Key Sentencesの学習を十分に行ったら、その中に含まれている単語や熟語が完全に覚えられているかを、本書の単語・熟語欄でチェックします。赤色フィルターを使って見出し語の英語部分を隠し、日本語訳を見て英語を言うテストを行ってください。「TOEIC L&R テストは英作文が出ないので、英単語を日本語に訳せば十分」という人がいますが、それは間違いです。「英→日」を目標にすると、単語・熟語の記憶はあやふやになります。他方、「日→英」はあやふやな記憶だとできないので、完全に覚えていることになります。完全

に覚えていることばが多ければ多いほど、リスニングとリーディングは速く正確になります。TOEICは、限られた範囲の語いを大量に・素早く・正確に処理する力が試されるテストですから、見出し語は(「日→英」で)完全に覚えましょう。

関連語句は、見出し語の同意語、派生語、用例等です。語い力を高めたり見出し語の理解を深めたりする目的がありますが、初めは、見出し語の「日→英」テストを行う際の「ヒント」として参照し、「日→英」ができるようになったら、詳しく目を通して、覚えられそうなものだけ覚えるようにしましょう(これは「英→日」でもOK)。それにより、スコアが更に上がります。

③ Words & Usage 及び Grammar を確認する

①と②の学習中に Key Sentence に含まれる語句の「関連事項を学びたい」とか「この動詞のingの使い方を詳しく知りたい」と思った時は、参照先の Words & Usage や Grammar の項目を読みます。無秩序に覚えていた単語・熟語の知識が整理され、より記憶に残ります。また、英文の基本構造、品詞の区別、語と語の修飾関係がより正確に理解できるようになり、「単語さえ分かれば TOEIC の英文は簡単だ」というレベルに達します。

● 学習が思うように進まない場合は...

本書は、730点~860点を目標とする受験者が対象です。従って、既に500点以上が取れる基礎力があることを前提に、単語・熟語・文法・語法を選定しています。もし、Key Sentencesに含まれる単語が初見のものばかりで、「読み下し音声」を繰り返し聞いても吸収しづらいと感じるのなら、教材のレベルが合っていない。500点以上が取れる基礎力とは、中学レベルの文法は完全に理解できていて、高校初級レベルの単語・熟語が発音と共に身につけていることを意味します。まずは、そのレベルをクリアしてから、本書を始めてください。

Key Sentences で使われている記号とシンボルの説明をします。

① 省略記号

Ving : 動詞の ing 形	Vb : 動詞の原形	Vp.p. : 過去分詞
【名】 : 名詞(句・節)	【動】 : 動詞(句)	【形】 : 形容詞(句・節)
【副】 : 副詞(句・節)	【前】 : 前置詞	【接】 : 接続詞
【代】 : 代名詞	【関】 : 関係代名詞もしくは関係副詞	
【助】 : 助動詞	【慣】 : どの品詞にも分類しづらいもの	
【同】 : 同意語	【反】 : 反意語	
{英} : イギリス英語	{米} : アメリカ英語	
{可算} : 可算名詞	{不可算} : 不可算名詞	

「句」とは2語以上で文末満のことばです。「節」とは文のことばです。「have trouble Ving」は「Vするのに苦労する」という意味の動詞の句(=動詞句)なので、【動】と表記されます。「entitled …」は「…というタイトルの」という意味で、形容詞の働きをする句(=形容詞句)なので【形】と表記されます。「… before ~」は「～の…前に」という副詞の句(=副詞句)なので【副】と表記されます。また、「how ~」は「どのように～するか」という名詞の節(=名詞節)なので【名】と表記されます。

② その他の記号

- ◆「find **one's** way」などの **one's** は所有格(my, his など)を表します。
- ◆「titled …」などの「…」には、文以外(=名詞、代名詞など)が入り、「how ~」などの「～」には文が入ります。但し、「such … as ~」のように「…」と共に用いられている場合の「～」は文とは限りません。
- ◆【 】は直前の語を受けて「もしくは」を意味します。[could [can] use] なら、「could use」もしくは「can use」という意味です。
- ◆< > は文の要素、主に目的語の内容を表します。「take 【動】<乗り物>を利用する」なら、take の目的語は「乗り物」という意味です。
- ◆() は補足を意味します。「insight (into …) 【名】(…についての)深い理解」なら、insight には into … が付くことがあり、その場合、into … は「…についての」という意味であることを表します。

③ 例文音声の国籍記号 (例文のキャラクターの下に表示)

本書の「読み下し音声」はアメリカ英語の発音で収録されていますが、「英語例文音声」は TOEIC と同様、4カ国の英語で収録されています。

 アメリカ英語
  イギリス英語
  カナダ英語
  オーストラリア英語

本書の Key Sentences には以下のキャラクターが登場します。



Cindy
Smith 家の母
趣味は買い物



Steve
Smith 家の父
建築家



Ted
Steve の弟
証券会社副社長



Hank
Evans 社の社長
Ted の顧客



Betty
Smith 家の長女
販売員



Fred
Betty の夫
弁護士。犬好き



Bill
Hank の息子
会計検査官



Sandy
Hank の妻
小説家



Cathy
Smith 家の次女
薬剤師



Andy
Cathy の夫
シドニー出身



Nick
敏腕の経営
アドバイザー



Mr. Sato
家電メーカーの
取締役



Joe
Smith 家の長男
業務請負会社勤務



Bob
Joe の親友
職を転々とする



Pat
Joe の同僚



Mr. Lee
家電メーカー社員
Pat と結婚



Max
Smith 家の愛犬
英文法が得意

- * 他のキャラクターは  のような影絵で表しています。 のマークはストーリーの朗読です。
- * 上記のキャラクターは ALL IN ONE シリーズの『ALL IN ONE Basic』『Jump-Start!』と共通です。